

みんなの議会 おおさと

令和4年2月1日

NO.205

定例会



一輪の花に託す

初生け会

- P.2 特集 新成人との座談会
- P.4 小学6年生 議会を見学
- P.10 一般質問
- P.19 第7回臨時会
- P.22 追跡レポート

裏表紙にインタビュー記事があります

— 大郷町をこんな町に —

新成人との座談会

令和3年12月6日、成人式運営委員と

「大郷町に思うこと」や

「将来の夢」について

座談会を行いました。



▲成人式の晴れ姿

子どもたちのためにも、土日に住民バスを運行してもらい、健康のためにも家から出る機会を増やして欲しい。
社会福祉士を目指している。施設で働くことや役場の福祉関係の仕事も将来の夢としてある。

町に何が足りなくて町外に転出してしまふのか、具体的に一緒に考えていきたい。
目標にしていた役場職員として働いている。今の職場が好きで続けていくために、自分自身で新しいことにチャレンジしたい。

町にカラフルな作品があったり、色彩豊かでアーティストが住みやすい町にしてほしい。
映画や音楽を作ってみたい。コロナ禍で落ち込んでいる方々を芸術が持つ心の薬で治したい。

定期券で乗れる住民バスの土日運行を行ってほしい。町内の暗い道路に街路灯を増やしてほしい。
今は事務の仕事をしているが、自分のやりたいことが何か見出せるように、夢を探している。

移動の自由ができるように住民バスの本数を増やしたり、土日運行してほしい。
豊かな自然がある大郷町が好き。海外に行っているいろいろな経験をして、やりたいことを見つきたい。

大郷町は交通量が多いので、ドライブスルーがあると町が活性化すると思う。
歯科衛生士の資格を取り、ボランティアで海外に行き、お金のない子どもたちの歯を見てあげたい。

この好きな大郷町がもっと良くなるよう、ショッピングタウンがあれば嬉しい。
1級整備士を目指している。自動車は日本の産業だと思い、そういうところで支えられる立派な人になりたい。

オリンピック競技にもなったので、近くに「スケボーパーク」があれば若い人が集まると思うので、そういう施設を作ってほしい。
自動車関連企業で働きながら、スケートボードを頑張っている。

たかはし

大倉さん (学生)



きす

菜摘さん (地方公務員)



かの

興代さん (学生)



ひらやま

ともかさん (社会人)



たかはし

芽生さん (社会人)



たかはし まりか (学生)



あかま

亮太さん (学生)



しょうじ

ひかるさん (社会人)





議会を 見学

大郷小 6年生

大郷小学校6年生68人。12月2日の一般質問の様子を見学しました。



いしかわ まお
石川 愛桜さん
(6年2組)



真剣な話し合い

私たちは大郷議会を見学しました。初めて見た議場の中はまるで、テレビで見たことのある裁判所のような感じでした。私たちが見学した席の近くで、様子を見学している大人の人たちもいました。透明なシートがあったり、話し終わると消毒したりしていて、コロナ対策をきちんとしていることが分かりました。質問する人と答える人は1人ずつで、話す人はモニターに映し出されていました。みんなとても真剣で、静かな雰囲気でした。私たちが見学したのは30分くらいでしたが、この話し合いは何時間くらい続いているのかなと思いました。どの議員さんも、質問に答える人も、大郷町についてすごく考えてくれていました。私たちの代表である議員さんたちは、大郷町をよりよくするために一生懸命真剣に話し合っていました。話し合いの中には難しい言葉がたくさん出てきたけど、見ているだけでもとても楽しかったです。

あかま たいが
赤間 大雅さん
(6年2組)



「よりよい町」に

12月2日に議会を見学しました。議場には国旗と町旗が飾られていて、議長さんは一番高いところに座って、議員さんに注意をしている場面もありました。また、一人一人の席に名札のようなものが置いてありました。質問する議員さんたちの席と、質問に答える町長さんたちの席は分かれていて、とても緊張感がありました。僕が見学したときには、3人の議員さんが質問していました。石川議員さんは町の施設のパンフレットを道の駅においてほしい、田中議員さんは中粕川にパークゴルフ場を作してほしい、千葉議員さんは学校生活をよりよくすることについて話していました。どれも町民からの願いだと思いました。そういった質問に対して、町長さんは身振り手振りを入れて、すごく気持ちを込めて話していました。大郷町をよりよい町にしていくために、こんなに熱心に話し合っているんだなと思いました。

すずき ゆうな
鈴木 柚奈さん
(6年1組)



見学で分かったこと

私は、議会見学に行って分かったことや気付いたことがあります。まず、分かったことです。1つ目は、議場の様子です。物音一つなくとても静かでした。2つ目は、議員さんの雰囲気です。議員さんは真剣に話したり、聞いたりしていました。次に気づいたことです。石垣議員さんは、大郷小学校の先生とタブレットのことについて話し合っていました。私は、理科などの教科に先生をつけることで、担任の先生の空き時間が増え、それを別の仕事に回せることは良いことだと思いました。議会見学をして、分かったことがたくさんあったので良い経験になったと思います。議員さんは、町のことを真剣に話し合ってくれているのでたくさん感謝しようと思いました。

はまだ こはく
濱田 琥珀さん
(6年1組)



町をよくするための議会

僕が議会見学に行って分かったことがあります。1つ目は、議会の様子についてです。議員さんとそれに答える町長さんや教育長さんなどに分かれて議会を行っていました。その中で、議員さんは、20分の間質問をすることができ、その質問に関係のある人が答弁していました。また、議員さんはその中で気になる点や事前に考えてきたことを質問していました。2つ目は、石垣議員さんについてです。石垣議員さんは、子どもたちの教育環境づくりに努力をということで大郷小・中学校のタブレットについて質問していました。大郷町を良くしようとしている議会を初めて見ることができました。議員さんの発言一つ一つで、大郷町が変わると考えると、とても良い見学ができたと思います。

12月定例会
補正予算

米価下落、凍霜被害に 農家支援

12月定例会が2日から7日まで行われ、一般会計と6つの特別会計及び水道事業会計の令和3年度補正予算を慎重審議の上、すべて原案どおり可決しました。

めだま



今回の主な

定例会

583万円 地域活性化拠点整備検討業務



かわまちづくり（イメージ）

問 検討業務の詳細は。
答 中粕川地区を含む町全体の復興・活性化を図るため、かわまち事業の可能性と事業費の算出も行う。

1414万円 中村原地区敷地造成工事等



問 増額になった理由は。
答 面積が確定したことにより、分譲宅地が増えた分である。

5945万円 子育て世帯への臨時特別給付金等
18歳以下に5万円



問 次の（5万円）支給の見込みは。
答 市区町村の現状によって現金でも可能とのことだが確定されていない。臨機応変に対応する。

465万円 町道改良舗装工事



問 場所と内容は。
答 土橋・明ヶ沢線道路の工事で、側溝などの整備である。

100万円 凍霜被害支援
果樹の新芽が凍霜被害にあい大幅減収した農家への支援



問 被害の大きさは。
答 桃で2ヘクタール、リンゴ4ヘクタール、その他3.5ヘクタール。

5000万円 稲作特別対策支援
米価下落支援



問 5000円にした理由は。
答 種苗費と肥料代が10アールあたり1万円と積算。その半分、そして近隣の自治体を考慮した。

その他の質疑

凍霜被害支援

問 100万円算出の根拠は。
答 県の支援金の単価が決定している。10アールあたり、桃は1万9000円、リンゴは8000円。被害面積は最大で計上している。

ふれあい号

問 単年度契約なのか。
答 アンケートや実施状況を総合的に考慮し、来年度は70歳以上を対象とする。需要増が定かでないので単年度とした。

スクールバス

問 なぜ5年契約なのか。
答 児童生徒数の推移を積算し、大きな変動がないことを確認したため。

分館環境整備事業

問 どの分館修繕なのか。
答 羽生分館である。
問 修繕費が予算よりオーバーした場合も5割の補助は見てもらえるのか。
答 やむをえない事情が発生した場合は地区と協議する。

介護保険事業

問 高額介護サービス費が増額されているが。
答 月当たりの利用件数が伸びている。

コロナワクチン接種事業

問 国のワクチン負担金と補助金は3回目接種の費用なのか。
答 3回目接種として3700人分を積算。補助金はコールセンター経費と郵送料等である。

ふるさと納税

問 年末キャンペーンの多忙期はパートでの作業はできないのか。
答 職員で対応している。企業版ふるさと納税を活用し増額していく。

職員旅費

問 九州の視察内容は。
答 職員2名で熊本の被災現場を見ながら被災の復興について意見交換をしたい。

議案採決結果一覧表

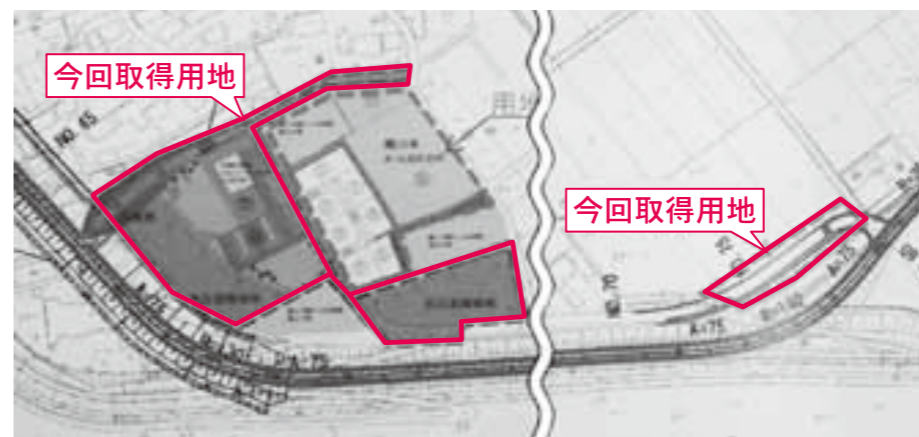
| 分類 | 議案名 (略称) | 採決結果 | 吉田耕大 | 佐藤 牧 | 赤間茂幸 | 大友三男 | 佐藤千加雄 | 田中みつ子 | 熱海文義 | 石川壽和 | 和賀直義 | 高橋重信 | 石垣正博 | 千葉勇治 | 若生 寛 | 石川良彦 | | | |
|-----------------------|--|---|----------------------|-------------------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|---|---|
| 第4回定例会 | 条例 | 住宅再建促進団地の分譲に関する条例の制定について | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| | | 国民健康保険条例の一部改正について 出産育児金を4,000円増額するもの | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| | 補正特別会計 | 一般会計(第7号) | 56億4352万円(4976万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | |
| | | 一般会計(第8号) | 57億297万円(5945万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | |
| | | 国民健康保険 | 国民健康保険 | 9億986万円(1077万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | | | 介護保険 | 10億7207万円(224万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | | | 下水道事業 | 2億6114万円(670万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | | 農業集落排水事業 | 債務負担行為補正 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | |
| | | 戸別合併処理浄化槽 | 7116万円(77万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | |
| | | 宅地分譲事業 | 5億2883万円(1414万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | |
| | 水道事業会計 | ①収益的支出:2億3324万円(1万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| | 財産の取得について(議案第61号) | | 可 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| | 黒川地域行政事務組合同規約の変更について 視聴覚教材センターを廃止するもの | | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| | 黒川地域行政事務組合の財産処分について 視聴覚教材センターの廃止に伴い教材等を富谷市、大和町に譲渡するもの | | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| 工事請負契約の締結について(議案第72号) | | 可 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | | |
| 工事請負契約の締結について(議案第73号) | | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | | |
| 請願第1号 | コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| 委発第3号 | コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書(案)18ページ | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| 第7回臨時会 P19 | 承認 | 専決処分の承認を求めることについて 一般会計(第9号) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| | 条例 | 高齢者外出支援事業条例の一部改正について | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| | 補正予算 | 一般会計(第10号) | 58億8862万円(1億2895万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | | |
| | | 特別会計 | 国民健康保険 | 9億1202万円(216万円↑) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | |

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 継続:継続審査 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

復興まちづくり事業

都市防災事業用地を取得

中粕川地区の15名分(40筆)の用地を6654万円で町が取得するもの。



▲中粕川取得用地

【議案第61号】
財産の取得
問 学校用地2筆入っているが、国の買収と重複していないのか。
答 地目上学校用地となっていないが、個人所有の土地であり、国の土地とは別の土地となっている。

定例会

【議案第72号】
中粕川地区宅地造成工事(第2期)
契約相手 佐藤・寺嶋建設工事共同企業体
代表者 佐藤工業(株)東北支店
契約金額 1億1935万円
工期 令和3年12月8日から令和4年3月31日まで



▲復興が待たれる宅地造成



▲長寿命化を

【議案第59号】
住宅再建促進団地の分譲に関する条例制定
令和元年台風19号による災害で、被災した町民の住宅再建を支援するため、中村・粕川地区に整備する住宅再建促進団地(復興団地)の分譲に関し、必要な事項を定めるもの。
【議案第73号】
希望の丘団地外壁塗装等改修工事
契約相手 新日本商事株式会社
契約金額 9900万円
工期 令和3年12月8日から令和4年3月31日まで



いしがき まさひろ 議員
石垣 正博

教科担任制導入効果は

子どもたちと、ふれあう時間が増えた(教育長)

教員の働き方改革で業務軽減を

問 文科省は来年度より、小学校5・6年生で本格的に教科担任制を導入する。高学年の先生方の持ちコマ数が減少、その空いた時間で子どもたちをしっかりと見られるようになる。不登校・いじめ等の課題の解決にもなると考えるが、

答 教育長 現在、小学校の5・6年生で理科・英語について、教科担任制を実施している。週当たり、理科3時間・英語2時間で、学級担任は週当たり5時間の空き時間が増えた。児童とふれあう時間が増え、いじめ等の問題行動抑制に役立っている。また、教員に「ゆとり」も生まれている。

安心して学べる環境に

問 学校で行われているIGAスクール構想は、子どもたちが情報手段を学び自立して生きる方法を身に付けていくことだが、学びの中で子どもたち・先生方の要望及び問題点はどのようなものがあるのか。

答 教育長 今年度からタブレット等を活用し学習への関心や意欲を高める道具として毎日活用されている。今のところ要望や問題点は特にない。

更なる活用や家庭への持ち帰りにより、今後様々な要望や問題点が出てくると思う。

ICT機器の活用に関しては、ICT教育推進委員会が検討し対応する。

問 デジタル庁のアンケートでは、活用能力の高い6割の先生に業務負担がかかる。5割の先生がICTの効果的な活用方法がわからない。本町では、要望・問題点が特にないとしているかどうか。

答 学校教育課長 堪能な先生がおり、その先生を中心に



▲タブレット活用の授業

心に校内で研修を実施。教育委員会では、講習会等を行っている。

問 問題ないと言われるが小学校では4月から端末を活用した授業を取り入れている。しかし、中学校では7月より開始になったのはなぜか。

答 学校教育課長 小学校の先生方の力もお借りして、

早く使える形を取った。確かに課題ではある。小・中学校連携を進めている。

問 以前にICT支援員等を登用してはとの質問で財政的に難しいとのことだが

答 学校教育課長 国で費用の半分を出す。しかし、ICT支援員を雇った場合、国で言っている2分の1では全然足りない。

ただ7名が町政を質す!



| 質問議員 | 質問件名 |
|-------------------------------|--|
| いしがき まさひろ 議員 石垣 正博 (11ページ) | 1. 子どもたちの教育環境づくりに努力を |
| おおとも みつお 議員 大友 三男 (12ページ) | 1. 防災減災対策について 2. コロナ感染症などによる生活支援について 3. 有害獣対策について |
| いしかわ としかず 議員 石川 壽和 (13ページ) | 1. 株式会社ラトリエについて 2. 民間に委託した町所有の建物について |
| たなか こ 議員 田中みつ子 (14ページ) | 1. 中粕川の河川敷にパークゴルフ場を |
| ちば ゆうじ 議員 千葉 勇治 (15ページ) | 1. 町の農業振興策について 2. 小・中学生が楽しい学校生活を送るための施策について 3. 生活困窮者へ灯油券発行で暖房支援を |
| わが なおよし 議員 和賀 直義 (16ページ) | 1. ごみの減量化について 2. 次のコロナ感染拡大に向けた対応について |
| よしだ やすひろ 議員 吉田 耕大 (17ページ) | 1. 新庁舎建設について 2. ドローン活用特区について 3. アスレチックパークについて |



いしかわ かつお 議員
石川 和生

ふれあい農園の地代をなぜ町が

管理運営費を賃料でまかなう(町長)

問 株式会社「ラトリエ」が運営することになった貸農園地代を町が地主に支払い、賃料は「ラトリエ」に入るとのことだが、考えられない仕組みと思うが。

答 町長 本来、羽生の「ふれあい農園」は、町が管理運営すべきところを「ラトリエ」が行なうとして、管理運営費は賃料でまかなう仕組みとなっている。

問 この仕組みは、「ラトリエ」からの提案なのか。

答 農政商工課長 双方の合意に基づく協定である。

問 このやり方を見直す考えはないのか。

答 農政商工課長 5年間の協定ということで、変わりはない。

問 新たな「縁の郷」のPR方法は。

答 農政商工課長 ホーム

問 ページや旅行サイト、SNS等である。

問 道の駅にパンフレットがなく残念だったが、レジで買い物かごや袋に入れてもいいのでは。

答 農政商工課長 デジタル媒体だけでなく、そのように対応できればと思っている。

問 縁の郷で地域振興公社の社員3人が働いている。人件費はどこで支払っているのか。

答 町長 給与は地域振興公社から支払われているが、その分を「ラトリエ」に請求し、支払いを受けている。

民間委託の施設修繕は

問 認定こども園に移行するまでの費用と縁の郷を「ラトリエ」に委ねるまでの経費は。

答 町長 認定こども園は、改修で約4041万円と保育教諭の人件費補助に約1006万円。縁の郷も改修工事等で約549万円。

問 今後も民間委託物件が出た場合も同様に対応するか。



▲ふれあい農園(羽生地区) =ふれあい農園全体エリア =除外エリア

答 町長 状況により取り扱いを協議し、議会の承認を得た上で決定していく。

問 縁の郷や物産館、開発センターの修繕は、今後も町で行わなければならないのか。

答 町長 基本的に所有者である町が行なうものと考えている。

分館の修繕は

問 町の施設となる分館の修繕等には地域住民に負担を強いているが。

答 財政課長 分館は町民が使用しているもの。町の要綱等に照らし合わせながら、今後も引き続き進めていきたい。



おおとも みつお 議員
大友 三男

開発規制条例の策定を

議論を深めることが必要(町長)

問 開発地域と抑制地域と大きく分けるとの町長発言があったが、災害の少ない町を目指すため、どのように地域分けするのか。

答 町長 今年3月に策定した都市計画マスタープランにより設定している。開発指導要綱により規制項目と対象区域を定めている。

問 土砂採取場や太陽光発電施設の増加で、吉田川・鶴田川流域での水害に影響があったと考えられる。開発行為に対し、本町独自の規制条例を策定すべきでは。

答 町長 開発指導要綱などと調整を図りながら、議論を深めることが必要である。

問 開発指導要綱では、ほとんど禁止できない。防災減災だけでなく、自然豊かな景観を将来の世代に残す。



▲増加している太陽光施設に規制を

問 町長 大丈夫なところと大丈夫でないところの協議を深めながら利用するというのが、本町の土地利用の実態である。

問 水害対策だけでなく、土砂災害危険地域に住んでいる方々に行政として避難訓練などを行うべきでは。

答 町長 大丈夫なところと大丈夫でないところの協議を深めながら利用するというのが、本町の土地利用の実態である。

問 水害対策だけでなく、土砂災害危険地域に住んでいる方々に行政として避難訓練などを行うべきでは。

答 町長 国や県の経済対

ために、公害や風評被害が想定される開発行為にも対応できる開発規制条例が必要ではないか。

答 まちづくり政策課長 条例を制定する場合、慎重な作業、審議が必要と考える。

問 町長 大丈夫なところと大丈夫でないところの協議を深めながら利用するというのが、本町の土地利用の実態である。

問 水害対策だけでなく、土砂災害危険地域に住んでいる方々に行政として避難訓練などを行うべきでは。

答 総務課長 行政区の自主防災組織でハザードマップ等を準備している。町で一括して行うより、地域の訓練が有効と考える。

イノシシ対策を

問 イノシシによる農作物被害が増加している。猟友会会員10名だけでは限界がある。わな資格取得を推奨し、イノシシ駆除の専門組織を作るべきでは。

答 町長 町民自らがイノシシの捕獲や被害対策の担い手になっていただくよう周知していく。



ちば 勇治 議員

担い手確保は可能なのか

町外委託も考えねばならない(町長)

問 委託先である法人や集落組織の経営的理由で農家に畑を返すことになった場合、町の対応策はあるのか。

答 農政商工課長 返される可能性はある。委託継続してもらったためにも担い手を増やすため、経営規模拡大できる法人育成を進めていきたい。

問 経営が大変な組織が後継者不足に悩んでいる状況下で本当に担い手を確保できると思うのか。

答 町長 町内で対応できないなら町外委託も考えねばならない。企業として捉えた農業を展開していきたい。それが今後の日本農業を下支えする組織と私は考える。

問 大郷の農地で町長が言っているスーパー農業に対する



たなか みつ子 議員

中粕川河川敷にパークゴルフ場を

関係者と意見交換していく(町長)

問 台風19号で被害を受けた平坦で広い河川敷にパークゴルフ場を作っていたら良かった。

答 町長 台風19号で被害を受けた平坦で広い河川敷にパークゴルフ場を作っていたら良かった。太陽を浴びてボールを追いかけて歩くことは一番の健康法だと思う。それによって、医療費も抑えられるし、良いことづくめだと思う。皆がああ河川敷はパークゴルフ向きだと思っている。ぜひ誰でも楽しくプレーできるパークゴルフ場を作ってください。

問 町長 粕川大橋上流部の左岸高水敷については、現在河川管理者から占用許可を受けた方が維持管理をしながら、採草地として借地をしている状況である。また、この※高水敷は大雨になり浸水する頻度が高いため、土砂が堆積する可能性があると考えている。これらの状況を考慮しながら、パークゴルフ場等、町民の健康増進につながる施設の実現性について、国や河川占有者などと意見交換していききたいと考えている。

一般質問

一般質問

不登校の要因は

問 学校側に不登校要因になる何かしらがあるのでは。

答 学校教育課長 学校側にもあると思う。行きたくなる学校づくりのため、先生方の指導力向上と子どもたちの絆づくり等を進めている。

問 せめて国が動くまで、地域農業を守る観点から、町が進めている重点作物に対する価格・所得を補償する考えはないのか。

答 町長 価格調整する考えはない。やる気もないものに補填するのではなく、競争に耐えうる組織になるための補助金なら出す。



▲台風19号被害による復興再建が急ピッチで進む大型ハウス

暖房費支援は

問 灯油価格高騰で生活困窮者は寒さに我慢している。一日も早く灯油券を配り「暖房支援策」を。

答 町長 国・県からの通知が届き次第、できるだけ御用納め前に届くよう進めていきたい。



▲河川敷にパークゴルフ場を

※ 常に水が流れる低水路より一段高いところ



よし だ ひろ 吉田 耕大 議員

ドローン活用特区の目的は

研究開発施設や関連企業誘致を図る(町長)

問 ドローン活用特区の利
用目的は。

答 町長 国産ドローンの
研究開発施設や関連企業の
誘致を図り、雇用の確保と
町の経済発展の実現を目的
とする。

問 町民へ周知や体験をど
う進めていくのか。

答 町長 特区に関する講
義やほ場を使った農業散布
の実演会を実施した。今年
度の事業として、小・中学
校の全クラスを対象に、説
明や飛行プログラムを作成
し、飛ばす実習も行う予定
である。ドローン活用の3本柱
である教育・農業・防災の
内容は。

答 まちづくり政策課長
農業は農業散布、防災は災
害発生前に山の状況を撮影
しておき発生後どのくらい
土量が出たか、迅速に



わか が なお よし 和賀 直義 議員

ごみ排出量の削減を！

生ごみの適正排出の周知を図る(町長)

問 資源循環型社会の実現
にはごみの減量化、排出ゼ
ロを目指さなければならな
い。近年のごみ排出量と費
用の推移は。

答 町長 年々増加し、令
和2年度の排出量は252
6トン。処理費用は1億3
716万円となっている。

問 一人当たりの排出量と
費用を示してもらえると減量
化への意欲が醸成できる。

答 町民課長 ホームペー
ジ等に掲載していく。

問 ※リデュース、※リユ
ース、リサイクルの取り組みは。

答 町長 ごみ収集計画表
をホームページ、広報紙等
を活用し周知を行っている。
リサイクル率は11・42%
である。

問 県平均は15・8%、仙
南地域は20〜30%達成して
いる自治体もあるが。

答 町民課長 県平均に達
成するよう努める。

問 令和6年度のごみ排出
量の目標が年間一人当たり
193kgとなっているが達
成のための施策は。

答 町長 衛生組合連合会
と連携し、生ごみなどの適
正な排出について周知して
いく。

3回目ワクチン接種を 万全に

問 国では11月中旬に希望者
全員が2回目の接種が終え
るが、我が町の最終的な接
種率は。

答 町長 11月22日現在で
6363人が2回目の接種
を完了し、80%を超える。

問 3回目の追加接種の概
ねのスケジュールは。

答 町長 12月より、2回
目の接種から8ヶ月経過し
た方から接種を開始する。

問 オミクロン株の発生等
により3回目接種の前倒し
が報道されているが、検討
するのか。

答 保健福祉課長 通知が
届き次第、4市町村で検討
し対応する。

一般質問

把握ができる。また小学生
からドローンを活用し大き
くなっても自然に使えるよ
うな教育をしていく。

アスレチックパーク の構想は

問 アスレチックパークの
進捗状況は。

答 町長 民間企業数社と
折衝している。決定事項で
はないが、今後も継続的に
企業や地域の皆さんのご意
見をいただきながら、より
具体的にプロジェクトを進
めていく。

問 キャンプ場など進めら
れる部分の早期実現の考え
は。

答 農政商工課長 民間活
力を利用して、協議しなが
ら、町としても早期に着手
できる部分については、し
たいという意向も伝えなが
らやれればと考えている。

一般質問

問 基金積立計画は。

答 町長 令和10年までに
10〜20億円程度積み立てる
予定。

問 建設委員会など設立の
考えは。

新庁舎建設への 計画は

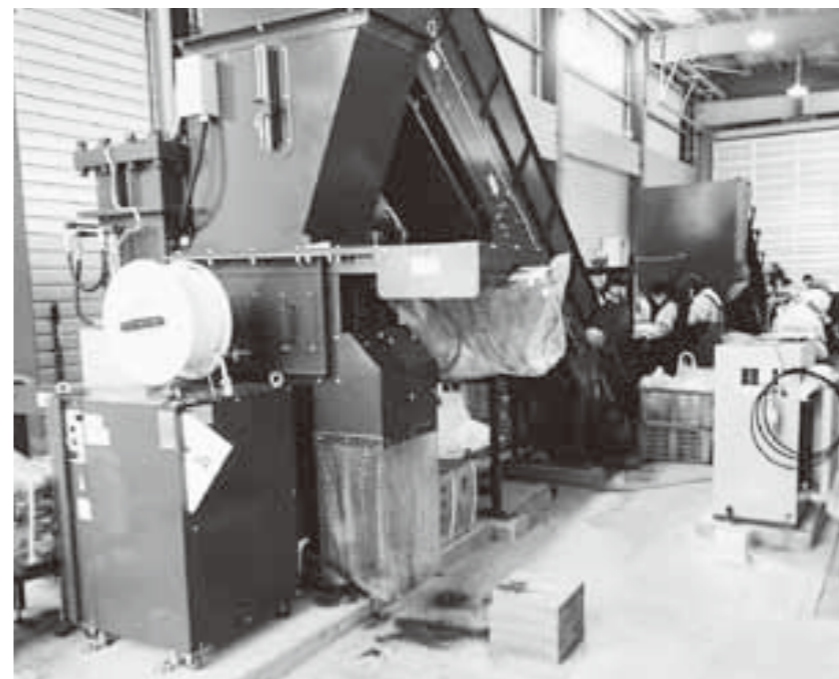
答 町長 町民の皆様にも
参加いただき建設候補地や
規模などを検討していき
たい。

問 今後のスケジュールは。

答 町長 令和13年度に基
本設計など、14年度に造成
工事、15〜16年度に建設工
事などを行う予定。



▲農業散布のドローン実演会



▲ペットボトル減容施設での分別作業(大和町 環境管理センター)

問 接種会場への移動手段
の対応は。

答 保健福祉課長 ふれあ
い号を利用できるよう引き
続き委託業者と話している。
集団接種をすれば送
迎バス等も考慮する。

問 接種促進のため、時間
外や休日接種の対応は。

答 保健福祉課長 医療機
関と詰める。
簡易且つ迅速に利用で

きる検査の環境整備と費用
の助成を実施すべきだ。

答 町長 国の対策本部に
て「ワクチン接種を受けら
れない者を対象として、経
済社会活動を行う際の検査
を来年3月末までに予約不
要、無料とできるよう支援
を行う」こととされ、具体
的な検査方法等が示される
ものと思うので、町単独の
助成は考えていない。

※1 できるだけごみの量を減らすこと
※2 ごみにせず、何度も使うこと

町内全世帯に1万円商品券

町独自の所得制限なしでの子育て世帯への臨時特別給付金に関する専決処分1件が承認され、ふれあい号の利用年齢制限を70歳以上に改める条例の一部改正1件、町内全世帯への商品券発行等に関する一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算について審議の結果、原案どおり可決しました。



▶コロナに負けない子育て支援を

10万円現金一括給付

【承認第8号】
専決処分

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、18歳以下を対象に10万円（5万円は12月定例会で承認済み）支給するため。
問 高校生以上の対象者は申請受付後、支給まで何日かかるのか。
答 申請後、最低でも1週間は必要。

ふれあい号70歳以上利用可能に

【議案第75号】

高齢者外出支援事業条例の一部改正
問 もう少し下げる考えは。
答 今後、意見を聞きながら調整していきたい。

【議案第76号】
一般会計補正予算

- ・ 町内全世帯に1万円商品券 総額3104万円
- ・ 住民税非課税世帯等に10万円商品券 総額9738万円
- ・ 3回目ワクチン接種費用助成 総額169万円



問 原油価格高騰対策として商品券発行事業と兼ねていると思うが、スケジュールはどうなっているのか。
答 1月24日全世帯に発送、2月1日から3月13日までが利用期限となっている。

【議案第77号】
国民健康保険特別会計補正予算
一般会計補正予算のシステム改修業務関連経費が国民健康保険の補助対象となるため、予算組み換える。

黒川地方市町村議会議員研修会

講演「東日本大震災からの教訓」

日時 12月22日 (水)
場所 富谷市成田公民館
講師 南三陸町長 佐藤 仁氏



▲南三陸町 佐藤 仁町長

意見書

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願が宮城県農民運動連合会嶺岸若夫会長より出され、総務産業常任委員会に付託した結果、「採択すべきもの」と決定。これに基づき本会議で採決した結果、全会一致で採択となり、左記の内容のとおり意見書を提出することになった。

委発第3号

提出者 総務産業常任委員長

【要旨】
コロナ禍により米の需要減少に歯止めがかからず、米価が大幅に下落した。農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の政策的枠組みにとられない対策が求められている。

賛成者 熱海 文義 委員
佐藤 牧 委員
若生 寛 委員
千葉 勇治 委員
高橋 重信 委員
佐藤千加雄 委員

国に意見書を提出しました

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書 (抜粋)

- 「過剰在庫」米を政府が買い取るなどして、需給環境を改善するとともに米価下落に歯止めをかけること。
- 政府が買い上げた米を生活困窮者・学生などへの食料支援で活用すること。
- ミニマムアクセス米（外国産米）の輸入数量調整を実施すること。

議会の主な動き (10/1~12/31)

| 月 日 | 用 務 | 月 日 | 用 務 |
|-------|---|----------|---|
| 10/4 | 広報広聴常任委員会 | 11/25 | 第29回災害対策調査特別委員会 |
| 10/6 | 宮城黒川地方町村議会議長会定例会議[仙台市] | 11/26 | 全国町村議会議長会主催町村議会議長全国大会[東京都] |
| 10/14 | 広報広聴常任委員会 黒川地方市町村議会連絡協議会役員会 | 11/28 | 吉田川流域治水シンポジウム [大崎市] |
| 10/25 | 宮城県後期高齢者医療広域連合議会臨時会[富谷市] | 11/29 | 黒川地域行政事務組合議会臨時会 [大和町] |
| 10/26 | 大郷町ドローン活用特区推進協議会 | 12/2~7 | 第4回定例会 |
| 11/5 | 教育民生常任委員会 | 12/2 | 議員全員協議会・議会運営委員会 |
| 11/9 | 黒川地方市町村議会議員研修会実行委員会[富谷市] | 12/3 | 総務産業常任委員会・教育民生常任委員会 議会改革調査特別委員会(議会基本条例に関する調査分科会) |
| 11/12 | 宮城県町村議会議長会広報研究会[仙台市] 一般社団法人大郷町シルバー人材センター創立10周年記念式典・講演会 | 12/6 | 広報広聴常任委員会(新成人との座談会) |
| 11/15 | 総務産業常任委員会 | 12/7 | 議会改革調査特別委員会(適正な議員定数に関する調査分科会) 議会改革調査特別委員会 |
| 11/18 | 議員全員協議会・議会運営委員会 総務産業常任委員会 | 12/16~17 | 広報広聴常任委員会視察研修[鴻巣市・高根沢町] |
| 11/19 | 宮城県町村議会議長会監事会正副会長監事合同会議[仙台市] | 12/22 | 黒川地方市町村議会連絡協議会議員研修会[富谷市] |
| 11/19 | 宮城黒川地方町村議会議長会表彰式・議員研修会[仙台市] | 12/23 | 黒川地域行政事務組合定例会議[大和町] |
| 11/22 | 宮城黒川地方町村議会議長会定例会議[仙台市] 宮城県町村議会議長会議[仙台市] | 12/24 | 災害時及び平時のドローン活用に関する連携協定締結式 宮城県知事と町村議会正副議長意見交換会 |
| 11/25 | 議会運営委員会 | 12/27 | 議員全員協議会 第7回臨時会 |

教育民生 常任委員会

11/5

廃棄物の減量化を

【調査の概要】

ごみ集積所の調査、環境管理センターマテリアル推進施設（大和町）を見学しごみ分別の状況調査、ごみ減量化の推進について町民課より説明を受け調査した。

【意見】

1. 町全体で、リデュース、リユース、リサイクルに取り組み、豊かな自然環境や安全で良好な生活環境を次の世代に引き継ぐ努力をすべきである。
2. 子どもたちへの環境授業からすべての町民にごみ減量化の啓発活動、目標達成のための運動強化期間の設定、町民からのごみ減量アイデアの募集等、重点施策をゼロからスタートすべきである。
3. 生ごみ処理容器、生ごみ処理機が補助されているが効果の程度が不明確になっている。減量化に寄与できるように検討が必要である。
4. ごみ袋の名前記入を徹底すべきである。
5. ペットボトル減容施設ラインでは、人が手作業でラベル・無洗浄等選別、分別のより徹底を。
6. 高齢の方がごみを出しやすい方法を検討すべきである。



▲分別のより徹底を

次回は
「認定こども園の現状」
を調査します。

総務産業 常任委員会

11/15

交通安全対策を早急に



▲道路標識を見えやすく

【調査の概要】

町内主要道路等の区画線、標識やカーブミラーの設置状況を調査し、役場において担当課より交通安全対策の取り組みや今後の計画についての説明を受け調査した。

【意見】

1. 町道の区画線や一時停止線手前の止まれの表示が消えており、安全走行に支障をきたす恐れがある。優先順位を定め、早急に解消に努められたい。
2. カーブミラーについて整備点検が行われているとのことだが、機能を果たしていないカーブミラーもある。早急に改善されたい。
3. 道路標識など、年数が経っているものもあり、色あせているため、改善されたい。
4. 県道も同じ状況である。県では定期的にパトロールしているが修繕している状況ではないので、町として強く要望すべきである。
5. 県・町道に設置している道路標識などが雨や積雪などで竹や木の枝が倒れてきて見えづらくなる。また、道路に倒れ交通に支障をきたす可能性があるため、早急に対応されたい。
6. 交通安全に対し地域や議会からの要望を伝えることができる体制をさらに確立されたい。

次回は
「農業振興に関する調査」
を調査します。

災害対策調査特別委員会

復興状況の現地調査

11/25
第29回

中粕川地区復興まちづくり事業及び中村原地区宅地造成事業について、工事の進捗状況と今後の工事等の計画に関して、現場視察、調査を行った。計画どおりの完成と1日も早い生活再建を願います。



▲中粕川地区



▲中村原地区

議会改革調査特別委員会

各分科会からの調査報告

12/7
第11回

適正な議員定数に関する調査分科会：十分な調査と討議を行い、令和4年12月までに結論を出す。

議会基本条例に関する調査分科会：他自治体を調査しながら草案を作成する。

議会のIT化に関する調査分科会：1月24日に全議員でのタブレット講習を受講し、導入に向け意見交換を行う。

広報広聴常任委員会

視察研修

12/16・17

【調査の概要】埼玉県鴻巣市の株会議録センター、栃木県高根沢町議会にて、住民と議会とのより良い関係をつくるために、議会広報の果たすべき役割を見直し、広報の編集方法等についての視察研修を行った。この研修を通じて、今後の紙面づくりに活かしてまいりたい。



▲広報は見やすく分かりやすく（株会議録センター）



▲町民目線の編集を心掛ける（高根沢町議会）

迎春



大郷町議会議長
いし かわ よし ひこ
石 川 良 彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃より、町民皆様には、議会活動に対しまして、格別の御理解と御支援を賜り、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

地方を取り巻く社会環境が大きく変貌する中、少子高齢化や大規模自然災害・新型コロナウイルス感染症対策、地域経済の活性化、行政のデジタル化など、行政課題のさらなる複雑化、多様化が見込まれます。

同時に社会情勢の変化や住民ニーズに的確に対応していくため、議会の果たすべき役割と責務は一段と大きくなっています。

このような状況を踏まえ、議会機能の充実と効率化に資するため、議会改革の推進に努めてまいります。

——今年も寅年——

虎はその勇猛な姿から厄除けの御利益があるとされています。虎の威も借り、本年が良き年となりますよう願います。

結びに、町民皆様の益々の御健勝と御多幸を議員一同お祈り申し上げます。



本年もよろしくお願ひ申し上げます

虎の威を借り、良き年に……

定例会年間予定表

| 定例会 | 期 間 | 会期日数 |
|-------------|--------------------|------|
| 令和4年 第1回定例会 | 令和4年3月1日(火)～16日(水) | 16日 |
| 令和4年 第2回定例会 | 令和4年6月7日(火)～10日(金) | 4日 |
| 令和4年 第3回定例会 | 令和4年9月5日(月)～21日(水) | 17日 |
| 令和4年 第4回定例会 | 令和4年12月1日(木)～6日(火) | 6日 |
| 令和5年 第1回定例会 | 令和5年3月1日(水)～16日(木) | 16日 |

※定例会の会期は都合により変更になることがあります。
※土曜日、日曜日及び休日は休会となります。

その後どうなった…

第81回 追跡レポート

認知症の対策を

保健福祉課長

認知症に関する啓発活動や早期発見・予防の取り組みを進め、安心して暮らせるまちづくりに努めていく。
(令和元年5月追跡レポートより)

・認知症対策は、ファイブ・コグなどを活用し、発症防止や重症化する前の対策を講じるよう努められたい。
(令和2年6月委員会調査報告より)

・認知症は増加傾向にあり、予防対策は喫緊の課題。早期発見が重要なため、住民健診などに取り入れることができないか、早期の検討が必要である。
(令和3年6月委員会調査報告より)

その後の対応と今後の計画

認知症サポーター養成講座等の開催や「オレンジ新聞」の発行を行い、認知症への理解を促すための情報提供を行うなど、早期に認知症に気づく機会を提供しています。また、年度内には脳の健康テストの実施も予定しています。

認知症やその原因となる脳血管疾患などの早期発見・早期治療を目的として、脳健診を受診しやすいよう助成事業を実施しています。また、認知機能に関する問診項目を追加し、その機能の維持・向上を図る保健事業を検討しています。

保健福祉課長

県に土砂撤去の要望を

- ・河川の浚渫工事を早期に着手し、治水、内水対策に努められたい。
(令和3年度予算審査意見書より)
- ・西光寺川と滑川が交わった下流付近は土砂の堆積があるので、県に工事の着手を早急に要望すべきである。
(令和3年9月委員会調査報告より)

その後の対応と今後の計画

滑川を管理している宮城県（仙台土木事務所）に早期に堆積土砂の撤去を行っていただくよう要望しております。宮城県では、本町でも実施している緊急浚渫推進事業債を活用し、来年度以降に滑川の堆積土砂の撤去について検討している。

本町では、令和3年12月に、西光寺川の堆積土砂の撤去が完了したことから、滑川について早期に着手していただくよう、今後も強く要望してまいります。

地域整備課長



▲流下能力が向上した西光寺川

みやこ 生け花教室 『京の会』

◀ 武田先生作 (成人式)



「京の会」会長

鈴木 久美子 さん

(山崎)

どのぐらい活動されていますか。

約40年前に愛好会として活動が始まり、『京の会』として約30年になります。

生け花教室の魅力は。

会員同士と和やかな雰囲気の中、草木を通して四季を感じ集中して自身と向き合うことができます。

長年続いている秘訣は。

笑顔の中にも厳しく、しっかりとご指導いただける先生の下、集う楽しみがあり、お花を通して、心が癒され、世代を問わず和気あいあいと生けられることです。



今後の目標は。

室町時代から続く生け花「池坊」を武田華陽社中展を通じ、一人でも多くの方に日本古来伝統文化に触れていただけたら幸いです。

最後に一言。

地域の皆様のご協力により続けられることができ、感謝いたします。生け花伝統文化を継承し、日々のお稽古に励み、今後とも精進いたします。



令和1年6月
武田華陽社中京の会
社中展開催に向け
準備中です!



第2、4土曜日、
山崎分館で開催して
おります。

次回定例会

予定

3月1日(火)から
午前10時~
3月16日(水)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube (ユーチューブ)」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様方には、輝かしい令和4年の新春を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。いまだに収束の見えない新型コロナウイルス感染症対策の引き続きのご協力をお願いいたします。また、安心して暮らせるようになりますようにと願います。

本年も町民の皆様方からのご意見を丁寧に向い、本町議会が一丸となつて行政側と活発な議論を進めて参りますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

吉田 耕大

広報広聴常任委員会

編集委員

| | | | | | |
|---------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 委員 佐藤 牧 | 委員 吉田 耕大 | 委員 田中みつ子 | 委員 熱海 文義 | 委員 和賀 直義 | 委員 若生 寛 |
|---------|----------|----------|----------|----------|---------|